ご紹介ください
新会員募集中!!

本荘ふるさと会の発展と充実を図るため新会員を募集しております。
本荘出身首都圏在住者をご紹介ください。

お問合せ

本荘ふるさと会

本荘ふるさと会会報　第42号

編集・発行
本荘ふるさと会編集委員会
題字　後藤竹清

原発すぐに廃止を

本荘ふるさと会会長　池田哲三

夏も終わり、心配していた電力不足は、各家庭や企業の節電でクリア出来ました。しかし、原発の一部再稼動で、再稼動に反対するデモが永田町附近で拡大されております。原発についての国民に対してのアンケート調査でも多くの国民が脱原発に賛成しているようですし、当然の国民感情と思います。

一方原発による経済効果のある地域や原発促進を推進して来た政治家や企業等、又優秀な化学者や技術者達は必ずしもそうではないかもしれません。更に今後は原発のごみの最終処分場探しの問題があり、原発で使い終わった核燃料から出るごみを地中に埋めて捨てる最終処分場を作る為につくられた組織「原子力発電環境整備機構」に処分場を捜す為に十二年間で四八〇億円もかけているそうであるが未だ処分計画は宙に浮いたままで、「高レベル放射性廃棄場」を全国の自治体に公募したが07年に高知県の東洋町が応じたがその後、撤回し、今のところないのであります。

国が主体的に今後処分場を捜すことにしても、仮に候補地があっても住民からの了承を得ることは、なかなか難しいと思うし、国有地を利用したとしても何十年もかかると思います。更に再稼動の原発がふえれば又更に時間の経過が必要になると思います。その点を考え、早急に研究し、その為の国家予算は大幅に組むべきです。今の電力会社にそれを求めても無理ですし、今後「想定外」とか言うことは決して許されることではないです。又事故がおきれば、自然破壊は勿論のこと、人類滅亡も考えられるのであります。そして又、原発事故で当分住むことの出来なくなった地域や計画的避難地域に指定された除染も、画期的な技術の開発がなければ、今後何十年もかかると思います。原発事故で被災を受けた子供達の将来の健康についても本当に安心出来る生活と完全なる事故処理には今のところ今世紀では解決出来ないのではないかと思います。三十年後全面廃止等悠長に考えている場合ではなく直ちに廃止し、政府はこれまでのやり方を見直しすることは当然です。この会報が発行される頃には野田政権は、自由民主党の総裁は、野党連合と大阪維新の会の政治の動き等、更に昏迷する政局を想像するのであります。こんなもどかしい現況を会員の皆様も感じていることでしょう。エネルギー政策の選択肢も従来の（火力・風力（景観的にはあまり好きではない地方等）技術だけではなく更に進歩した時代や将来に期待したいものです。

突然ですが俳優の高倉健さんに総理になっていただき、AKB48を卒業された前田敦子さんに原発廃止運動のリーダーになっていただきたいと思います。

やはり最後は、ひみつの「アッコチャン」にテクマクマヤコン・テクマクマヤコン「原発のない世界になあれ…」と頼んで見たいものです。

第24回総会　本荘ふるさと会
懇親交流パーティー
11月23日（金）開催

Access 交通のご案内

電車	りんかい線天王洲アイル駅より徒歩4分
モノレール	浜松町駅より5分（天王洲アイル駅直結）
バス	JR品川駅港南口より5分
車	湾岸道路大井ランプより5分 首都高速1号線 芝浦ランプより3分、勝島ランプより3分
飛行機	羽田空港より18分　成田空港より70分
リムジンバス	成田空港より90分

※モノレールをご利用の方は急行が停車しませんのでご注意下さい。

今年は開催時間が30分早くなりますのでご注意下さい

今年も天王洲で開催します

日時：平成24年11月23日（金）
受付：午前10時～
総会：午前11時～
懇親交流パーティー：午前11時30分～
会場：第一ホテル東京シーフォート
東京都品川区東品川2－3－15
☎〇三－五四六〇－四四一一
懇親会費：八、〇〇〇円
年会費未納の方：二、〇〇〇円
申し込み〆切：平成24年11月4日（日）

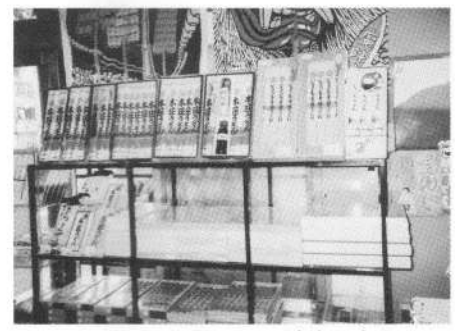
ふるさと探訪⑤

民芸さいとう

本荘ふるさと会幹事　工藤晉

八月二十五日、本荘も猛暑の朝、開店時間の八時三十分に〝民芸さいとう〟を訪問、今年で開業五十周年を迎えている当店は、現在二代目の齊藤誠（専務）さんが実務を行っています。五十年前に開業されたのは誠さんの父、齊藤倉之助（社長）さんですが、開業前は〝秋田樺細工〟の営業販売のお仕事をなさっていたそうで、出身は大仙市の太田町との事でした。誠さんに色々お話を伺っているうちにお客さんが入って来ました。山口県から大曲の花火を見物に来られたそうで〝御殿まり〟〝稲庭うどん〟〝樺細工の菓子器〟等を購入されたようでした。店内には由利本荘市の物産や秋田県内の物産、工芸品等が所狭しと並んでましたが、二階に案内されて感激しました。初代の趣味を兼ねた高級な〝樺細工〟や〝陶器〟等がギャラリーの様に展示されていました。全国的に有名な〝稲庭うどん〟は、当然の事、〝本荘うどん〟等はお中元やお歳暮の季節になると極めて売れ行きアップとのことでした。私にはなつかしい〝さしぼっこ〟〝たけのこ〟〝なめこ〟等山菜の缶詰もふるさと出身の方には好評のようです。最後にお世話になっている先生に本荘のお酒を送る手配をして帰りましたが、会員の皆様も帰郷の際には二階の高級な〝樺細工〟〝陶芸品〟等をご見物下さい。

稲庭うどんや本荘うどんは好評



地元のお酒やワインが並ぶ店内

お店の前で専務の“齊藤　誠”さん

民芸さいとう
社　長　齊藤倉之助（昭和８年生）
専　務　齊藤　誠（昭和40年生）
住　所　由利本荘市裏尾崎町１-21
営業時間　平　日　８時30分～６時30分
日　９時30分～６時30分
電　話　0184－23－0075

二階には高級な樺細工や陶器等が展示されています

●ふるさと通信

第29回本荘追分全国大会

八月十九日、カダーレで開催され、秋田市の浅野晴香さん（宮崎市出身・二十四歳）が悲願の優勝旗を手にしました。

本荘ふるさと会会報発行に寄せて

由利本荘市長　長谷部　誠

お元気ですか。

首都圏にお住まいの皆様には、ふるさと由利本荘に、ふるさと納税寄付を始め、多面に亘るご支援とご協力を賜り、この紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

さて、今年は、年度始めの四月早々に爆弾低気圧による暴風と高波による被害が発生し、農業・漁業施設や一般住宅にも多くの被害がもたらされました。

市では、臨時議会において、被災施設などの早期復旧に係る補正予算を議決いただき、復旧支援に全力をあげたところであります。お陰さまで、農業生産には大きな影響もなく収穫期を迎えようとしておりますのでご安心ください。

また、本市地域経済にあっては、少子高齢化の進行やＴＤＫの工場再編などもあり、景気や雇用には依然として不安材料を抱えています。

このため、市役所内に「由利地域の経済雇用情勢に関する相談窓口」を設置したほか、地元雇用の創出に向けた厚生労働省所管の「実践型地域雇用創造事業」にも着手するなど雇用対策を進めております。

こうした中、市では、鳥海山を核とした観光振興による地域の活性化にも取り組んでおります。今年六月には、矢島口の三合目にある「桑ノ木台湿原」が三年ぶりにグランドオープンし、木道が整備された散策ルートは「国内トップクラスの湿原の美」を満喫できるものとなっており、由利本荘発の手つかずの自然美として発信して参りますので、皆さまにも帰省などに併せて、是非体感してください。

スポーツ界では七月に、本市にとってうれしいニュースがありました。本市船岡出身の五十嵐俊幸さんが、世界ボクシング評議会フライ級タイトルマッチで勝利し、世界チャンピオンに輝きました。市では、この快挙に五十嵐さんへの市民栄誉賞の授与を決定し、八月にその式典を挙行し、市民と共にお祝いしたところであります。

本市は、合併から八年目に入りました。この間、一市七町の均衡ある発展と一体感の醸成や地域間格差の解消に努めて参りました。

皆様の出身地域である本荘は、市の中心市街地としての役割を担っており、昨年は、旧由利組合総合病院跡地に「文化交流館カダーレ」がオープンし、今年は、旧本荘文化会館跡地において、消防本部新庁舎の建設事業を平成二十六年度の竣工に向けて進めているところであります。また、県内初の斜張橋がシンボルとなる「由利橋」の架け替え事業を来年一月の供用開始を目指し進めるなど、周辺地域との連携のもと安心安全のまちづくりを力強く進めているところであります。

国や地方の厳しい財政状況は、好転の兆しが見えませんが、私の市長任期の最終年度となる平成二十四年度も、「市民と共に歩む市政」を基本姿勢として「人と人との信頼関係」を大切に「一日一生」の思いで市政を運営してまいりますので、今後とも本市発展に向け、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本荘ふるさと会の益々のご隆盛と、会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますとともに、次回の総会で再会できますことを心待ちにしております。

快挙　五十嵐俊幸選手　フライ級世界チャンピオンに!!

由利本荘市船岡出身のプロボクサー（帝拳）五十嵐俊幸選手は、七月十六日埼玉県春日部市のウイングハット春日部で同級王者のソニーボーイ・ハロ（フィリピン）に初挑戦で、一進一退の攻防を制し王座を獲得しました。五十嵐選手は西目高校でボクシングを始め、三年生の時ライトフライ級でインターハイ、国体を制し、東京農大では03・04年の全日本選手権同級で連覇、同年アテネ五輪に日本代表として出場しました。大学卒業後の06年にプロ転向。十一年二月日本フライ級王座に就き、同六月には初防衛に成功しました。五十嵐選手が王座を獲得出来た裏には、本荘ふるさと会会員でもある尾形荘二さんの存在がありました。尾形さんはプロボクシングフライ級の現役世界王者のまま、交通事故で命を落とした大場政夫（一九四九～七三年）の新人時代、所属する帝拳ジムのトレーナーとして指導に当たった人です。その尾形さんは今でもジムに顔を出しては、五十嵐選手や三種町出身の三浦隆司両選手を物心両面で支えています。世界戦の当日、私は秋田県出身の美術作家展オープンのため会場には行けませんでしたがテレビで必死の応援をしました。多くのふるさと会の皆様も同様であったと思います。八月二十四日本荘に帰ると〝五十嵐俊幸選手市民栄誉賞決定〟の垂れ幕を目にしました。今後もたゆまぬ努力にて次戦防衛を祈り、会員の皆様と共に〝おめでとう〟と心より敬意を表し祝福致したく思います。頑張れ由利本荘市の星!!（工藤　晉記）

最終回、猛然と連打をまとめて勝負を決めた

「第五回由利本荘ふるさと会連合会の集い」開催される

本荘ふるさと会副会長　武田　夏男

由利本荘市の八つのふるさと会の会員が年に一度、一堂に会しての「集い」が今年も開催されました。

六月二十四日「グランドプリンス新高輪」に来賓・会員約百十名が出席しての盛大で楽しい「集い」でした。

第一部では菊地連合会会長の挨拶、由利本荘市石川裕副市長の市政状況報告を頂き、そして毎回好評の市内八地域の民俗芸能とイベントのＤＶＤの上映は今年もみなさんに郷愁と喜びを与えた様です。

第二部懇親会では県東京事務所鈴木長彦所長（岩城町出身）・県人会連合会高久浩二会長の挨拶、市議会渡部功議長の乾杯の音頭の発声で懇親へ一挙に移ります。懇談から余興へと佳境に入ります。ここで大内会の渡会加代子さんと当会のご存知吉澤厚子幹事の二人の舞踏子の登壇です。

その妙技に陶酔しているうちに時は遠慮なく進み、愈々フィナーレです。例年通り、会場全員による懐かしの唱歌「ふるさと」の大合唱で終息です。来年の再会を約して、お披良喜です。

江戸の風流屋形船ツアーに参加して

大門　泉治（蓼沼）

今年は七月七日、七夕の日に屋形船ツアーが実行され、小生も妻と初めて参加しました。現在千葉県松戸市に住んでおり、千代田線にて東京メトロ東西線に乗り換えて木場駅に下車する。木場駅から歩くこと十分で船宿「吉野屋」へ到着。大型の屋形船に皆で胸躍らせて乗船する。参加者四十四名、涼しげな浴衣をお召しの松本幹事の本荘弁による司会で宴会が始まりました。

池田会長挨拶後、遠く静岡県清水市から見えた貝野照子さんによる乾杯の音頭で始まる。〝刺身の盛り合わせ〟そして名物揚げたての〝てんぷら〟は冷たいビールと相まって喉越しがよく一段とおいしかった。

船は深川より隅田川を上り浅草に到着。浅草で停泊して今、旬の観光スポット「東京スカイツリー」を船上より眺め各自カメラのシャッターを押す。生憎の曇り空でタワーの上が霞んでハッキリしなかったのが残念であった。

船中では松本さんの名司会で、参加者全員を絶妙に紹介し賑やかさと笑いをさそい、大いに盛り上がる。カラオケではプロ並みの歌が次々と出て拍手喝采の連続でした。

飲んで食べて、話して笑って、そして歌っての二時間半（午後三時～五時半）があっという間に過ぎた楽しい一時でした。今年参加出来なかった方は是非来年夏に参加することをお勧めします。皆さん来年又逢いましょう。幹事の皆さん本当に楽しませていただき誠にありがとうございました。

犬塚記美子（東町）

七月七日、七夕というのに、雨でちょっと残念です。ツアーには、家族で参加させていただきました。

屋形船は、深川で有名な吉野屋さん。出船は午後三時過ぎ、船は木場の船着き場よりさほどの揺れもなく隅田川へと…。

松本副会長の司会にはじまり、池田会長のご挨拶のあと、イケメン従業員（ルーマニア出身）の、運ばれる料理に舌づつみ、歌や談笑で船内は盛り上がりました。

松本様の流暢な本荘弁は懐かしく、又爆笑でした。

東京スカイツリーも、第一展望台まで見ることができました。

船は一路船着き場へと。短い時間でしたが、楽しい屋形船ツアーでした。

幹事の皆様ごくろうさまでした。

編集後記

●八月九日、池田会長、武田副会長と共に、三浦昭太郎さんの告別式にてお別れを告げた。元副会長、いつも〝懇親会〟にプレゼント、由利本荘市にも大変貢献なされた〝真心〟に感謝。

●九月十四日、会報の原稿を〝高橋タイプ〟に持参。これで四十二号もセーフ、十月六日に会員の皆様に発送予定。夕刻中学時代のクラスメイト四名で乾杯。なつかしく当時を語る。

●九月十六日、本荘駅前をスタートしたお祭り行列、獅子舞を見ながら故郷を後に、涙が出た。

（工藤晉）